

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		特別養護老人ホーム「蔵前」				所管	福祉部 高齢福祉課			
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度				
	長期総合計画体系	[基本目標]							[事業開始] 平成 7 年度	
		[小 柱]								[終了予定] - 年度
		[施 策]								
	根拠法令等	条例・規則	[法令等名]	東京都台東区立特別養護老人ホーム条例及び同施行規則						
	事業対象	介護保険法に基づく要介護認定を受けた方								
	事業目的	常時介護を必要とし、家庭で介護を受けることが困難な高齢者の入所施設を運営することで、常時の介護、その他日常生活に必要なサービスを提供し、高齢者の生活を支援することを目的とする。								
	事業内容	常時介護を必要とし、家庭で介護を受けることが困難な高齢者の入所施設の運営。要介護度や心身の状態に応じたサービスを提供することで高齢者等の生活を支援する。 指定介護老人福祉施設(特養)の定員は50名。								
委託の有無	全部委託(指定管理)	委託内容	特別養護老人ホーム蔵前の管理運営							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度			
	活動指標	入所定員	(人)	50	50	50	50			
		成果指標	利用率	(%)	99.0	95.9	96.5	98.3		
			※入院中の利用者を除く							
	決算額	(単位：千円)			67,518	63,568	62,333			
	事務事業コスト	人にかかるコスト(人件費など)			1,800	1,666	1,704			
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			60,590	63,569	62,334			
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			6,929	0	0			
		総経費			69,319	65,235	64,038			
	財源項目	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0	0	0			
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0	0	0					
一般財源(区負担額)			69,319	65,235	64,038					
前年度から改善した事項	平成24年度から開始した「空床利用型短期入所生活介護事業」の推進を図ることにより、利用率増及び利用料金収入増を達成した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	特養の入所希望者は依然として多く、引き続き高いニーズが見込まれる。利用率も高水準で推移している。							
	効率性	3	老朽化に伴う維持補修等を適切に行いながら、効率的な運営に努めている。							
	手段の適切性	3	指定管理者制度に基づき、施設運営は適切に行われている。							
	目的達成度	4	事業目的は十分に達成されている。引き続きサービスの向上に努めていく。							
[評価の理由](区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了			
本事業は常時介護が必要な高齢者の生活を支える施設サービスとして、事業の必要性は高い。今後も高齢化の進展に伴い、高いニーズが見込まれる。また、建物の老朽化も進んでいることから、施設の適切な保全に努めていく。						維持				